

先行審査プラントの記載との比較表（資料5 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書に係る補足説明資料（ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価について））

東海第二発電所	柏崎刈羽原子力発電所第7号機	備考
補足1 原子炉格納容器漏えい率の設定について	補足1 原子炉格納容器漏えい率の設定について	資料構成の相違。 （定常流の式よりも温度の影響を考慮しているAECの式の方が保守的な結果となるため、柏崎刈羽では、定常流の式は原子炉格納容器漏えい率の評価式の比較対象としていない。）
補足2 原子炉格納容器内での除去効果について	補足2 原子炉格納容器内での除去効果について	評価結果の差異。 （設備設計の差異に伴い評価結果が異なるが、説明項目としては同様である。）
補足3 原子炉格納容器内における無機よう素の自然沈着効果について	補足3 原子炉格納容器内における無機よう素の自然沈着効果について	表現の差異。 （設備設計の差異に伴い一部結果が異なるが、説明項目としては同様である。）
補足4 サプレッション・プールでのスクラビングによる除去効果（無機よう素）について	補足4 サプレッションプールでのスクラビングによる除去効果（無機よう素）について	表現の差異。 （設備設計の差異に伴い一部表現が異なるが、説明項目としては同様である。）
補足5 原子炉格納容器外への核分裂生成物の放出割合の設定について	補足5 原子炉格納容器外への核分裂生成物の放出割合の設定について	表現の差異。 （表現の差異はあるものの、説明している評価方法は同様である。）
補足6 地表面への沈着速度の設定について	補足6 地表面への沈着速度の設定について	表現の差異。 （表現の差異はあるものの、説明している評価方法は同様である。）
補足7 有機よう素の乾性沈着速度について	補足7 有機よう素の乾性沈着速度について	差異なし。
補足8 エアロゾルの乾性沈着速度について	補足8 エアロゾルの乾性沈着速度について	差異なし。
補足9 実効放出継続時間の設定について	補足9 実効放出継続時間の設定について	評価結果の差異。 （設備設計の差異に伴い評価結果が異なるが、実効放出継続時間の評価方法は同様である。）
補足10 ベント実施に伴うベント操作時の作業員の被ばく評価で考慮している線源の選定について	補足10 格納容器ベント実施に伴う操作時の作業員の被ばく評価で考慮している線源の選定について	設備構成の差異。 （設備構成の差異に伴いアクセスルート及び操作場所に近傍する線源は異なるが、説明内容としては同様である。）
補足11 気象資料の代表性について	補足11 気象資料の代表性について	資料構成の相違。 （東海第二は、新規性基準適合性に係る設置変更許可申請及び工事計画認可申請に当たり、被ばく評価等に用いる気象データを従前のものから変更したため、評価に適用する気象データの妥当性について記載を拡充している。）
補足12 コンクリート密度の根拠について	—	設計条件の相違。 （柏崎刈羽は、遮蔽計算に使用するコンクリート密度として設計値を適用している。）
補足13 原子炉建屋からの直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線、ランドシャイン評価モデルについて	補足12 原子炉建屋内の放射性物質からの直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線並びにランドシャインガンマ線評価モデルについて	評価方法の差異。 （柏崎刈羽は、放射性物質の地表面濃度の実効線量率への換算係数を乗じることで、ランドシャインガンマ線による被ばく線量を評価している。）

青字：柏崎刈羽原子力発電所7号機との差異

東海第二発電所	柏崎刈羽原子力発電所第7号機	備考
補足 14 ベント弁開操作時の作業員の被ばく評価における評価条件について	補足 13 ベント弁開操作時の作業員の被ばく評価における評価条件について	設備構成の差異。 (遮蔽条件等の設備構成は異なるが、説明項目としては同様である。)
補足 15 重大事故等時における格納容器圧力逃がし装置格納槽の遮蔽の熱除去の評価について	補足 14 重大事故等時におけるフィルタベント遮蔽壁の遮蔽の熱除去の評価について	評価結果の差異。 (設備設計の差異に伴い評価結果が異なるが、評価項目としては同様である。)
	補足 15 ベント実施に伴う現場作業の被ばく評価の評価条件の変更点等について	資料構成の相違。 (設置変更許可申請時からの評価条件の変更点及び差異について説明している。)

青字：柏崎刈羽原子力発電所7号機との差異